

ASIRU - アシル -

令和5年10月18日発行 第21号



子どもの読書活動の推進について

学習指導要領の改訂により、言語活動や探究活動などの学習活動が学校図書館で展開されることが、今後、ますます多くなります。そのため、学校図書館の環境整備を充実させることが重要になります。本号では、弟子屈町立弟子屈小学校の学校図書館の取組、関係団体との連携について紹介します。

いつでも、だれでも利用しやすい図書コーナー（学校図書館）へ

弟子屈小学校は、どの児童にとっても利用しやすく、本や新聞などに親しむことのできる環境づくりから、読書活動の推進を図っています。

図書コーナー（学校図書館）は、児童玄関前にあるオープンスペースに位置しています。書棚を低いものにしたり、書棚と書棚の間隔を広げたりすることで、玄関や廊下から図書館を一望できるようになっています。図書コーナーをより身近に感じられるように、児童の目線や動線を考えて、書棚等が配置されています。

入口には、発達段階を考慮した様々なおすすめ図書や紹介ポップが並び、児童の実態に合わせた展示がされています。また、児童が新聞により親しめるように、新聞を広げて並べたり、弟子屈町に関する新聞記事の切り抜きを展示したりと、NIE（Newspaper in Education）にも積極的に取り組んでいます。

展示の奥には、テーブル上に並んだ新刊、大型絵本やぬいぐるみ、様々な高さの椅子や学習スペース等、居心地のよい空間・目的別に利用しやすい環境が整っています。



【開放感のある図書コーナー（学校図書館）】



【地域や社会とのつながりを感じる記事の展示】



【新聞を広げて、「より見やすく」「より読みやすく」】

町図書館や読み聞かせ団体との連携による読書活動の充実へ

弟子屈町では、弟子屈町図書館と同じ図書館システムを町内の全ての小・中学校に導入しており、町図書館と学校間の連携・相談体制が整っています。学校への団体貸出のほか、町図書館が学校の新しい図書の登録作業を行う等、町図書館も学校の読書環境を支えています。

30年以上の活動歴を誇る読み聞かせ団体「絵本の会おはなしはらっぱ」の取組が、地域や子どもに根付いており、コミュニケーションを大切にされた対話型の読み聞かせは、本の楽しさと地域の人と関わる良さを味わうとともに、地域のつながりづくりにもなっています。



【対話型の絵本の読み聞かせに引き込まれる児童の様子】

パンフレット『主体的・対話的で学びの深い学び』を支える学校図書館

各学校の学校図書館の充実に向け、体制整備と利活用が一層促進されるよう、学校図書館の意義やその機能、授業での活用などについてまとめていますので、是非ご活用ください。



子どもの読書活動応援動画「スポーツスクラム北海道×北海道教育委員会」

道内で活躍するプロスポーツチームで構成する「スポーツスクラム北海道」の選手が、幼児から高校生までのおすすめ本を動画で紹介しています。